



希少がん医療マスターコース（インテンシブコース）



希少がんの診断 治療の現状と課題

日時：2019年2月16日（土）16:30-19:30

場所：大阪国際がんセンター5階臨床病理カンファレンスルーム

第1部

講義：「希少がんの定義・疫学・臨床」

講師：松浦成昭（大阪大学特任教授・大阪国際がんセンター総長）

第2部

演習：「希少がん患者にどう対応するか」

講師：松浦成昭（大阪大学特任教授・大阪国際がんセンター総長）

*****★*****★*****★*****★*****★*****★*****

比較的患者数の少ないがんである希少がんについては第3期がん対策基本計画の1つの柱に位置付けられています。

これまでは患者数の多いcommon cancerの診療の充実が求められてきましたが、標準治療がほぼ確立してきて、各医療施設で遭遇することの少ない希少がんが問題として浮かび上がってきました。

どの医療施設も経験が少ないため、どのように診断して、どのように治療するかがわからず、患者さんの診療が不十分になっているのが実状ですし、適切な診断がされていないこともしばしば報告されています。がん診療にたずさわるすべての職種は希少がんについての知識を身に付けて、自施設で対応困難な場合は、専門施設との連携が必要です。

今回のセミナーでは希少がんについて、基本的な所から実際の診断・治療、さらに問題点と将来のあるべき姿を講義します。また、演習として事例を提示して、どのような形で対応したらよいか、それぞれの職種・医療施設の立場で考えてもらう場を提供したいと思います。本セミナーを通じて、希少がんの知識を身に付けて、適切な対応をして頂くことを期待します。

お問合せ先：大阪大学大学院医学系研究科

多様な新ニーズに対応するがん医療人材（がんプロフェッショナル）

養成プランゲノム世代高度がん専門医療人の養成 がんプロ事務局

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-7 TEL. 06-6879-2472 FAX. 06-6879-2629